






**LOCKABLE CASE****Publication number:** JP5501815 (T)**Publication date:** 1993-04-08**Inventor(s):****Applicant(s):****Classification:**

**- international:** A45C5/02; A45C13/10; A45C13/18; E05B55/08; E05B65/52;  
G08C15/00; A45C5/00; A45C13/00; A45C13/10; E05B55/00;  
E05B65/00; G08C15/00; (IPC1-7): A45C5/02; A45C13/10;  
A45C13/18; E05B55/08; E05B65/52; G08C15/00

**- European:** A45C13/10; E05B65/52

**Application number:** JP19900512010 19900831**Priority number(s):** DE19893929122 19890901**Also published as:** WO9103186 (A1) EP0489793 (A1) AU6280490 (A) DE3929122 (A1) CA2065255 (A1)Abstract not available for **JP 5501815 (T)**

---

Data supplied from the esp@cenet database — Worldwide

⑤ 日本国特許庁(JP)

⑩ 特許出願公表

⑧ 公表特許公報(A)

平5-501815

⑨ 公表 平成5年(1993)4月8日

⑥ Int. Cl. <sup>1</sup>	識別記号	庁内整理番号	審査請求 未請求 予備審査請求 有	部門(区分) 1(2)
A 45 C 13/18 5/02 13/10	Z A	2119-3B 2119-3B 2119-3B		
E 05 B 55/08 65/52	B Z	0130-2E 8404-2E 6984-2F		
I G 08 C 15/00				(全 3 頁)

④ 発明の名称 施錠可能なスーフケース

⑦ 特 願 平2-512010

⑪ 特許文提出日 平4(1992)2月28日

⑧ 出 願 平2(1990)8月31日

⑫ 国際出願 PCT/EP90/01465

⑬ 国際公開番号 WO91/03186

⑭ 国際公開日 平3(1991)3月21日

優先権主張 ⑮ 1989年9月1日 ⑯ ドイツ(DE) ⑰ P3929122.7

⑱ 発 明 者 モルゲンロフト・ゲルハルト, ドイツ連邦共和国、ミュンヘン40、8000、テングストラーセン24  
 ⑲ 出 願 人 モルゲンロフト・ゲルハルト, ドイツ連邦共和国、ミュンヘン40、8000、テングストラーセン24  
 ⑳ 代 理 人 弁理士 今岡 友夫  
 ㉑ 特 定 国 A T (広域特許), A U, B E (広域特許), C A, C H (広域特許), D E (広域特許), D K (広域特許), E S (広域特許), F R (広域特許), G B (広域特許), I T (広域特許), J P, K R, L U (広域特許), N L (広域特許), S E (広域特許), U S

## 3 要 求 の 範 囲

1. 図1に示された半部12、14を適当な位置関係によって施錠可能な設けたスーフケース10において、トロッコ機構の動作を遠隔制御できるようにしたことを特徴とするスーフケース。

2. 上記遠隔制御動作を無線によって行うことを特徴とする、請求項1に記載されたスーフケース。

3. 上記動作を、無線遠隔制御により行うことを特徴とした、請求項1又は2に記載されたスーフケース。

4. 上記遠隔制御を、電磁波によって行われる役割としたことを特徴とした、上記発行者各請求項に記載されたスーフケース。

5. 上記遠隔制御を、スプリング伝達としたことを特徴とした、上記発行者各請求項に記載されたスーフケース。

## 4 発 明 の 詳 細

## 施錠可能なスーフケース

図1に示された半部12、14を適当な位置関係によって施錠可能な設けたスーフケース10、例えば銀行用ケース又はアタッシュケースとして広く使用されている。

この種のスーフケースは、他者のない他人によって勝手に開けられることがないように、通常一つ又はそれ以上の安全装置によって保護されている。安全装置として、例えば、鍵で施錠するもの、又はある数字の組み合わせを調整ダイヤルでセットすることで施錠するいわゆる組合せ式のものがある。

しかし上記のスーフケースは、多少の事柄をかんがへれば、必然として他人が開けることが可能なものである。何故なら、その鍵は、鍵又は調整ダイヤルのいずれかで施錠される為、スーフケースのどこに鍵があるかを他人に正確に知られてしまえば、その場所に通じた鍵をこめて施錠解除し、スーフケースを開くことが可能だからである。次に鍵穴又は調整ダイヤルは、全体としての防犯印像に悪影響を及ぼす。又上記組合せ式においても、上記組み合わせをセットすることは原則であると共に、ある程度の時間を要する。更にスーフケースを開けた状態で、調整ダイヤルの設定を不注意又は故意により変えた後、正しい設定を忘れてしまふことがしばしば生じ、このような場合、再び施錠解除できる状態にするまでにはかなりの手間がかかる。

本発明が解決すべき問題は、他人により簡単にスーフケースが開けられることを確実に防止し、併せて、上述の問題等によってスーフケース全体の防犯印象を損なうことがないようにすることにある。

本発明は、本発明者によれば、取付した位置のスーフケース内の内部構造を適当な方法によって施錠することによって、解決される。

そうすれば、他者のない他人は、スーフケースの二つの半部12、14に設けられた部分及び内部部分で形成する施錠部の位置を、外部から認識できない。次に鍵穴又